

2 市民の暮らしを守る防犯・防災・減災体制の構築

(1) 老朽空き家対策の強化、被災家屋・空き家等の解体

人口減少とともに増える空き家が危険家屋とならないよう、応急対応処置を図るとともに、必要に応じ行政指導も行う。また、被災して住むことができなくなった住居や空き家などの解体支援に取り組む。

重要業績評価指標(KPI)

- ・老朽空き家の応急処置等に関する改善件数

8箇所(R元年度～R4年度) → 8箇所(R6年度～R9年度)

■具体的な事業

- ・老朽空き家等に対する適切な助言、指導等
- ・住まいの耐震化の支援
- ・空き家の利活用・除却の支援
- ・住むことができなくなった被災住宅、空き家・納屋などの解体支援（公費解体、費用償還）

(2) 防災・減災対策の強化

災害による被害を未然に防ぐため、がけ地や住宅浸水の対策、道路・側溝・調整池に関する冠水対策工事を実施する。また、I o TやA I、ドローンなどを活用し、災害リスクの低下につなげる。併せて、被災による危険リスクを下げるため、危険ブロック塀の解体支援を積極的に進める。

重要業績評価指標(KPI)

- ①がけ地対策工事支援の申請件数

2件(令和4年度) → 3件(令和9年度)

- ②冠水箇所改善件数

2箇所(令和4年度) → 5箇所(令和9年度)

■具体的な事業

- ・がけ地対策工事の推進
- ・住宅浸水対策への支援
- ・I o T、A Iなどのデジタル技術やドローンを活用した防災・災害対策及び支援
- ・各種災害情報ツールの有効活用（メール、HP、LINE、結ネットⁱの効果的活用）
- ・GPSやI o Tを活用したデータに基づく測量、防災・減災対応
- ・道路のかさ上げ工事
- ・側溝整備等による排水能力の向上
- ・調整池の整備
- ・危険ブロック塀の撤去

(3) 地域における防災拠点の整備

各地域においても防災備品を充実することで、有事でも対応できるよう十分な備えを行う。
また、地域で防災備品をストックできるよう、分散型拠点スペースの計画的設置に取り組む。

重要業績評価指標(KPI)

- ・防災備品ストックのための分散拠点数

6箇所(令和4年度) → 10箇所(令和9年度)

ⁱ 結ネットとは、町会回覧板をはじめとする町会ネットワークをデジタル化することを主目的とするアプリケーション。